



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2019年10月

募集要項

日本的経営研修コース

The Program for Japanese Corporate Management

[PJCM]

2020年2月18日～3月4日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS*）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTSは1959年（昭和34年）8月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2017年度（平成29年度）までに世界171カ国から延べ190,000人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ201,000人余りが参加しています。

「日本の経営研修コース（PJCM）」は、AOTSが開発途上国を対象として実施する管理研修コースのひとつで、開発途上国の企業経営者・経営幹部を対象に、日本企業の特徴的な経営管理手法やその根底にある考え方を学び、自社にどう適用するかを学ぶために設計された実践的な研修コースです。

2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。
<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

3. 参加者の人数：

22名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、製造企業における経営者、経営幹部の方。サービス業における経営者、経営幹部や組織運営に責任を持つ上級管理者も可とする。
 - (2) 年齢は20歳以上の方
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 開発途上国または地域に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者はAOTSに対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTSの承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTSの管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。

- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合は、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

(日本国内の法人を通じてのお申込みの場合)

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 12 月 2 日（月）** までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

(海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合)

AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 12 月 2 日（月）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2020 年 1 月 9 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは成功している日本企業において特徴的に見られる、長期的展望に基づいた経営方針、経営者の現場重視の姿勢、従業員のコミットを引き出す経営理念の浸透や各種の経営手法、などに対する理解を深めます。

また、こうした日本的経営の特長を参加者自身が自社へ適応する可能性を検討し、日本的経営と自国の企業経営の精神を融合した「ハイブリッド経営」を模索する経営者としての資質と能力の向上を目指します。

■ 期待される効果

- (1) 日本の経営の精神についてより本質に迫って理解を深めることができます。
- (2) 日本の経営のあり方や具体的事例を参考に、自社で取り入れるべき考え方や手法について気づきを得るきっかけとなります。

■ 期間

2020年2月18日（火）～3月4日（水） （2週間）

■ 内容

上記コンセプトのもと、本プログラムでは下記の内容について学びます。

- (1) 企業経営における3つの精神（市民精神[Citizenship]、企業精神[Entrepreneurship]、営利精神[Utilitarian mind]）について理解を深め、従来日本企業がどのようにこの3つの精神をバランスさせてきたか学ぶことによって、日本企業に特徴的にみられる経営に対する基本姿勢やあり方について理解します。
- (2) 5S、アメーバ経営（*）等、日本企業が取り組み、成果を収めてきた現場重視の経営手法について、その背景にある考え方や実践方法について企業見学や演習、ディスカッションなどを通じて理解を深めます。
- (3) 日本には創業200年以上を超える長寿企業が3,000社以上ありますが、そのほとんどがファミリービジネスです。日本のファミリービジネスで取り組まれている企業を永続させるための努力と工夫について学び、自社の経営にどう生かしていくかを考察します。
- (4) 研修コースで学んだことを参加者が自社の企業経営にどのように活用するか、帰国後のアクションプランをまとめ、最終日に発表します。

* アメーバ経営…京セラの創業者である稲盛和夫氏が、同社の経営理念を実現するために創り出した独自の経営管理手法。現在では、稲盛氏が関わった企業を初めとして、約600社の日本企業に導入されている。

コースは通常午前3時間、午後3時間の課程からなります。夕食後にグループ討論が行なわれることもあります。日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

加護野 忠男 氏

甲南大学特別客員教授、神戸大学経営大学院名誉教授

神戸大学経営学部助手、講師、助教授を経て、1988年神戸大学経営学部教授、1998年神戸大学経営学部長・大学院経営学研究科長、1999年神戸大学大学院経営学研究科教授として教鞭を取る。2011年より甲南大学特別教授を務める。1979年から80年、ハーバードビジネススクール留学。NTN社外監査役、参天製薬社外監査役、住友ゴム工業社外監査役、ファミリア社外取締役等を歴任。また、組織学会会長、企業家研究フォーラム副会長、日本経営学会理事、日本ベンチャー学会理事、ファミリービジネス学会理事等を歴任。経営学博士。

主要著書：『経営組織の環境適応』（1980年）、『日本企業の多角化戦略』（共著、1981年、日経・経済図書文化賞受賞）、『日米企業の経営比較』（共著、1983年、組織学会賞受賞）、『組織認識論』（1988年）、『事業システム戦略』（共著、2004年）、『経営の精神』（2010年）、『松下幸之助に学ぶ経営学』（2011年）、『経営はだれのものか』（2014年）など。

曾根 秀一 氏
静岡文化芸術大学文化政策学部准教授

大阪経済大学経営学部専任講師、メモリアル大学客員研究員、帝塚山大学経営学部専任講師等を経て2015年より現職。また、ファミリービジネス学会常任理事、企業家研究フォーラム幹事、国際学会 SMEUCE (Sustainability Management of e-Business and Ubiquitous Commerce Engineering) 理事会メンバーとしても活動。博士（経営学）。

主要著書：「老舗企業と地元企業との相互依存関係について」『地域学研究』第40巻第3号（2010年、日本地域学会 優秀発表賞受賞）、「老舗企業の継承に伴う企業家精神の発露」『日本ベンチャー学会誌』No. 22（2013年、日本ベンチャー学会 論文奨励賞受賞）、「Cultural Approach to Understanding the Long-Term Survival of Firms」, Business History, Vol. 57（2015年、共著）など。

■ 研修場所と宿泊施設 （予定）

AOTS 関西研修センター (KKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>
558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7番5号
電話：06-6608-8260（受付）、ファックス：06-6690-2678

7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例1】中堅・中小企業の場合

2/17来日・2/18～3/4研修コース参加・3/5帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>174,047</u>	116,031 [2/3]	58,016 [1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 関西研修センター)	<u>1,800</u>	1,800	
合計	<u>583,847</u>	<u>365,831</u>	<u>218,016</u>

【試算例2】一般企業の場合

2/17来日・2/18～3/4研修コース参加・3/5帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>174,047</u>	58,015 [1/3]	116,032 [2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 関西研修センター)	<u>1,800</u>	1,800	
合計	<u>583,847</u>	<u>263,815</u>	<u>320,032</u>

【試算例3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

2/17来日・2/18～3/4研修コース参加・3/5帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>174,047</u>	87,023 [1/2]	87,024 [1/2]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	218,000	190,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 関西研修センター)	<u>1,800</u>	1,800	
合計	<u>583,847</u>	<u>306,823</u>	<u>277,024</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10．お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。

ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階

電話：03-3549-3051 Fax：03-3549-3055 E-mail: g-ukeire-ak@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1丁目 30-1

電話：03-3888-8256 Fax：03-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370 Fax：66-2-255-2372 E-mail: information@aots.or.th

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 雅聡

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1 Fax：62-21-230-1831 E-mail: information@aots.or.id

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office Unit 12A, Rectangle One, D-4 Saket District Center,
New Delhi, 110017

電話：91-11-4105-4504 E-mail: info@aots.org.in

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 馬場 宏和

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township, Yangon

電話：95-1-8604922 E-mail: info@aots.org.mm

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

日本の企業経営研修コース [PJCM] 日程

2020年2月18日～3月4日

AOTS 関西研修センター (予定)

月/日	午前	午後	夕方
2月17日 (月)	(来日)		
18日 (火)	オリエンテーション/開講式 講義：日本の経営の精神	発表・ディスカッション：参加者の経営課題と研修目的の共有化	
19日 (水)	見学：3Sと経営	講義：5S（掃除）の習慣化と経営	
20日 (木)	遠隔研修：海外企業 5S導入事例	講義・演習：5S自社導入計画づくり	
21日 (金)	講義：日本の企業家精神	見学：日本の企業家精神事例	
22日 (土)	休日		
23日 (日)	休日		
24日 (月)	講義・演習：ハイブリッド型経営に向けて		
25日 (火)	(遠隔地) 企業等見学	見学：松下幸之助の経営精神①	見学：松下幸之助の経営精神②
26日 (水)		見学・講義：トヨタの経営理念と人づくり	見学：TPS（トヨタ生産方式）
27日 (木)	講義：日本企業の企業間連携戦略		
28日 (金)	講義：技能継承とファミリービジネス	見学：老舗ファミリービジネスの経営理念事例	
29日 (土)	休日		
3月1日 (日)	休日		
2日 (月)	講義：アメーバ経営の考え方と特徴	講義：アメーバ経営の仕組み	
3日 (火)	演習：アメーバ経営の実践演習	見学：アメーバ経営導入事例	講義：アメーバ経営振り返り
4日 (水)	最終レポート発表		修了式
5日 (木)	(帰国)		

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

PRE-TRAINING REPORT

The Program for Japanese Corporate Management
[PJCM]

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Name of your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your company/ organization (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Most critical managerial problems you are now facing, indicating their causes from your viewpoint</p>	
<p>8. Possible measures to solve such problems together with limitation factors</p>	
<p>9. Current condition of implementing 5S within your company</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implemented in the entire company 2. Partially implemented 3. Considering implementing 4. No plan to implement at this time
<p>10. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About _____ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About _____] %
- Productivity will increase. [About _____] %
- Product and service quality will improve. [About _____] %
- Costs will be reduced. [About _____] %
- Market will be extended.
- Others [_____]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Estimated sales for this fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [_____]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [_____]

End of document